

学校法人におけるリスクマネジメント

日時・会場	2022年10月13日（木） 13:00～16:00 大阪ガーデンパレス
参加料	会員：11,000円／非会員：19,800円（資料代、消費税含む、オンデマンド配信同料金）
定員	60名 ※ 本セミナーは録画し、オンデマンド配信（ダウンロード不可）する予定です（有料）。 （申込締切：12/23まで、視聴期間：入金確認後～12月末まで）

プログラムと講師略歴

■ 13:00～16:00

学校リスクマネジメントの考え方と危機発生時の実務対応

みやした けんじ
宮下 賢路 氏 [学校リスクマネジメント推進機構 代表]

1. 学校リスクマネジメントの考え方とその方法

(1) トラブルの傾向と考え方の基本

- ① 最近の傾向について
- ② 危機管理とリスクマネジメントの違い

(2) 構造を理解する

- ① 全体像の理解
- ② 危機発生時のダメージ

(3) 未然防止の考え方

- ① 損失の可能性（リスクを抑制するためには何をすればよいのか？）
- ② リスクコントロール
- ③ リスクファイナンス
- ④ リスク対策の方法
- ⑤ リスクマトリクス

(4) リスクを管理する方法

- ① リスクの洗い出し、評価・ハザードの洗い出しの方法
- ② 演習の手順
- ③ 人の不正の発生要因
- ④ 人の不正防止の考え方
- ⑤ 演習の応用方法

2. 緊急事態や大きなトラブルが発生した場合の対応方法

(1) ダメージを想定して対策を講じる方法

- ① 不祥事発生事例
- ② それぞれのダメージは？（演習）
- ③ 多様なダメージを在校生、学校、自分という3つの軸で考える
- ④ 5W1H（六何の原則）
- ⑤ 事件・事故発生時の情報収集・整理の仕方
- ⑥ 情報一元管理の手法（例1＝現状把握）
- ⑦ ダメージを想定する
- ⑧ 情報一元管理の手法（例2＝対策）
- ⑨ ポジションペーパー（参考）
- ⑩ 想定問答集（Q&A）

(2) 緊急時の実務ポイントを知る

警察、記者、生徒等、報道特性、ホームページ活用等

(3) クレーム対応の実務

期待値の把握、コミュニケーションの強化、初期対応、ラポールの形成方法、普通ではない保護者と戦う方法等

大学卒業後、上場企業出資のセキュリティー関連企業に勤務し、系列会社の取締役役に就任。主に国際イベントなどの警備や外資系投資ファンドグループ等に対するリスクマネジメント・危機管理業務に事業部の責任者として従事した。その後、国内大手危機管理会社で反社会的勢力や企業不祥事等の調査、個人情報保護プロジェクト（リーダー）等を担当。

グロービス・マネジメント・スクール、(社)経済同友会 起業フォーラム（第一期生として選抜）等を経て、平成17年にリーフポイント株式会社を設立し、学校リスクマネジメント推進機構を運営している。現在は、日々、学校での危機や不祥事の発生防止及び発生時の緊急支援などのアドバイスを行いながら、多数の私立学校や教育委員会等で研修講師を務め、東京都23区の教育委員会の内、20区が宮下が考案した危機管理研修を導入している。マスコミ出演も多数あり、当機構設立以来17年にわたり学校業界に特化したトラブル対応の支援をし、企業の危機管理支援経験を含めると、トータルで27年の経験を有している。（令和4年現在）

さらにこのような実務経験に加え、アンガーマネジメントの知識やNLPマスタープラクティショナー（実践心理学）、LABプロファイルマスタープラクティショナー（言語パターン）、上級リスクコンサルタント、警備員指導教育責任者、甲種防災管理者、個人情報保護士等、多様な領域の資格を有していることが、問題解決に効果的な方法をアドバイス出来る源泉となっている。